

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画の目標やサービス内容を職員が周知できておらず、目標達成へ向けて統一したサービス提供ができていない	職員間で介護計画に基づいたケアを実施する	職員は介護計画を周知し、長期・短期目標へ向けてサービス提供を行う	12ヶ月
2	26	カンファレンスはできているが、その後のモニタリング(評価)やアセスメント(課題分析)は不十分などところがある。利用者の状況変化に対応した迅速な介護計画の見直しできていない	状況に応じて評価し課題分析する。ご本人やご家族に相談しながら現状に即した介護計画を適切な時期に作成する	本人がより良く暮らせるための課題とケアのあり方について、日頃より職員はご本人の状態や意向を把握する。ご本人、ご家族へ説明や相談しながら介護計画を作成する。状況変化に応じて迅速に介護計画を見直す	12ヶ月
3	6	天候の良い日は施錠せず玄関を開放し自由に出入りできるよう対応を工夫して実施を試みているが、施錠しない時間帯は短く、冬場は実施できてない	安全性が保持できる範囲内で玄関やフロアを施錠せず、自由に出入りできるように取り組む	見守りが強化できる職員は開錠し玄関を開放する。デイケア休日(土曜・日曜・祝日)は時間帯を決めて1丁目フロアの出入り口を開放して自由に出入りできるように実施する	12ヶ月
4	2	利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるような、個人の状態に合わせた外出支援が少ない	地域のお店へ買い物に出かける。地域交流できる場へ出かけて行事や催しに参加する	地域のお店に買い物にでかけられるよう計画・実行する。地域行事や催しの情報を早めに収集し、参加できるように計画・実行する	4月～11月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。